

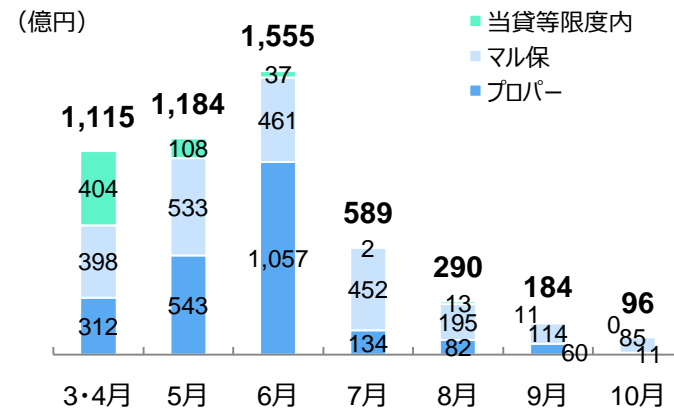
- 資金繰り支援は一段落。今後はニューノーマル（新常態）への対応にシフトしていく

## 新型コロナウイルス関連融資の状況

### 【実行額の累計】

	9月末迄		10月末迄	
	件数	金額	件数	金額
新規貸出 ①	11,049件	4,343億円	11,725件	4,439億円
プロパー	478件	2,190億円	485件	2,201億円
保証協会	10,571件	2,153億円	11,240件	2,238億円
当座貸越等 限度内実行 ②	283件	574億円	283件	574億円
<b>合計 (①+②)</b>	<b>11,332件</b>	<b>4,917億円</b>	<b>12,008件</b>	<b>5,013億円</b>

### 【実行額の推移（月別）】



## ニューノーマルへの対応

### コロナによる影響

#### お客さま

- ✓ 当初の資金調達ニーズから、業態転換や事業承継、経営改善等のニーズの高まり（経営者マインドの変化）
- ✓ 非対面・非接触取引のニーズ拡大

#### 地域・社会

- ✓ デジタルシフト
- ✓ 地方を見直す動きの加速
- ✓ 環境等、社会的課題への関心増大

#### 従業員

- ✓ 働き方や価値観の変化・多様化

### 静岡銀行グループの方向性

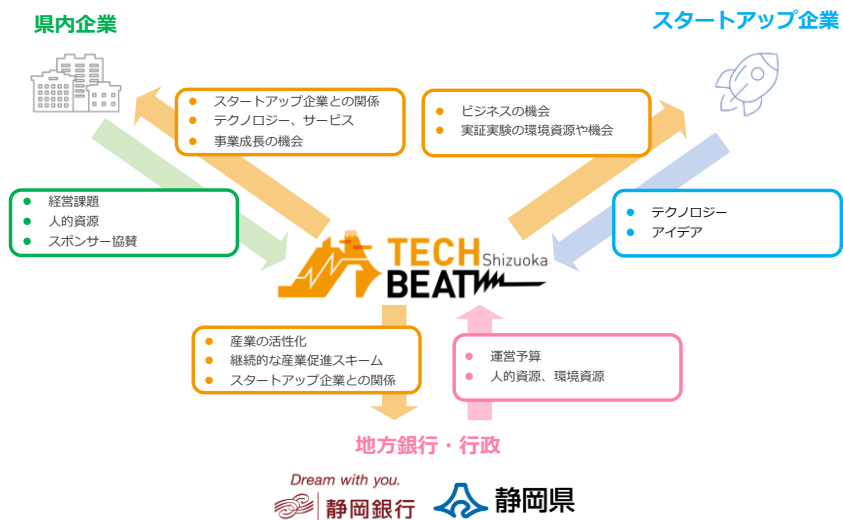
- ✓ 資金繰り支援の継続
- ✓ グループ一体となった、お客さまの課題解決支援
  - ・ 資本性ローンやリースを活用した資金繰り平準化
  - ・ 経営改善、事業承継支援等
- ✓ 非対面で完結する取引・商品の拡大

- ✓ 地公体等と連携した、オフィス・リビングシフトへの対応
- ✓ 行政のデジタル化を踏まえた対応
- ✓ サステナビリティ経営の強化

- ✓ デバイス配布の拡大等による、リモートワークの一層の浸透
- ✓ 人事諸制度の見直し
- ✓ ダイバーシティへの取組み拡大

2019年、静岡県にスタートアップ企業を集積させ、オープンイノベーションによる県内産業の活性化を提唱した当行の呼びかけで、静岡県や経済団体が参画し「TECH BEAT Shizuoka実行委員会」を設立。同年7月、ビジネスマッチングイベント「TECH BEAT Shizuoka」を開催。2日間の来場者数3,300名、商談件数440件と、新たなビジネスの創出や、協業機運の醸成に貢献した。2020年には、オンライン商談の仕組みを構築し、コロナ禍におけるニューノーマル下でのビジネス遂行を支援。

## 【スキーム図】



## 【開催実績】

TECH BEAT Shizuoka (2019年7月)

項目	実績
来場者数/ 来場社数	3,300人/ 1,086社
当日商談件数	328件
総商談件数 (後日商談含む)	440件

TECH BEAT Shizuoka  
for Agri (2020年3月) ※オンライン

項目	実績
延べ視聴回数	1,685回
参加登録者数	1,005人
総商談件数	90件

TECH BEAT Shizuoka 2020  
(2020年7月) ※オンライン

項目	実績
延べ視聴回数	12,346回
参加登録者数	2,798人
総商談件数	320件

TECH BEAT Shizuoka for  
Medical Startups (2020年11月)  
※オンライン (数値は12/1現在)

項目	実績
延べ視聴回数	2,367回
参加登録者数	780人